



～～ 音読の書 ～～

★言語感覚を磨いて豊かな言語生活を!

子どもたちが毎日がんばっている音読ですが、時として一本調子な読み方になっていませんか? 実は、ちょっとした工夫で音読は上達します。「口の形に気をつけて、はっきりした声を出す。」「声の大きさやはやさを工夫する。」等、いくつかのポイントがあります。音読を通してたくさんの詩や言葉に親しみ、言語感覚を磨いていきましょう。

1. 正しい姿勢で音読しましょう!

【練習例】

- ① 床を見ながら「アー」
- ② 正面を見て「アー」
- ③ 天井を見ながら「アー」

①～③のどの声がよくひびくか確認しましょう。姿勢の大切さを実感することができます。

2. 腹式呼吸が大切です!

【練習例】

- ① おなかに手を当て、いっぱい息を吸います。おなかをポンポン叩いて、風船のようになったかを確認しましょう。
- ② 息が続くまで「アー」と声を出してみましょう。

3. □形に気をつけ、歯切れよく発音しましょう!

【練習例】

- ① まず、おなかに手を当てて「ア・エ・イ」と発音します。
- ② つぎに、あごを少し引いて目はまっすぐ前を見て「ア・オ・ウ」と発音します。
- ③ それから背筋をピンと伸ばして「ア・エ・イ・オ・ウ」と発音します。強く、大きく発音します。
- ④ 「ア・エ・イ・ウ・エ・オ・ア・オ」(口の体操)をだんだんスピードをあげて、十回程度やってみましょう。

